



将来を見据えた ワークプレイス

IT リーダーとビジネスリーダーの
ための戦略ガイド

ワークプレイスを再定義

未来の働き方を切り拓く

私たちの働き方は急速に変化しています。ハイブリッド型のチームが増え、取締役会レベルでも AI が新たな重要課題となり、管理がこれまで以上に複雑化する中で、ワークプレイスには、今日のビジネスのあり方を支えるよう進化しながら、将来のニーズにも適応できる能力が求められています。どのような場所でもワークプレイスになり得ます。重要なのは、働く場所だけでなく、働き方、そして従業員と顧客の双方にどのような体験を提供するかです。

従業員、パートナー、顧客のために生産性の高いワークプレイスを構築するには、サイロ化された取り組みでは不十分です。サイロ化は、セキュリティリスク、可視性の欠如、一貫性のない体験を招きます。問題発生時に場当たりに対応するのか、それとも将来を見据えて強靱な統合基盤を能動的に構築するのか。どちらを選びますか。



課題:

ワークプレイスに求められる新たな要件

テクノロジー

ネットワーク通信量と帯域幅の需要が大幅に増加し、レガシーシステムに大きな負荷がかかっています。IT リーダーの 97% が、AI、IoT、クラウドの展開にはネットワークのモダナイゼーションが不可欠であると考えています¹。

セキュリティ

AI を活用した攻撃、管理されていないデバイス、拡大する IoT の攻撃対象領域により、リスクと脅威はこれまで以上に動的になっています。昨年は、9 割の組織が AI 関連のセキュリティインシデントを経験しました²。

運用

通信量やデバイスの増加により管理の複雑さが高まり、運用負荷が増大しています。さらに、業界全体でのスキル不足への対応も課題です。2026 年までに、世界の 90% 以上の組織が IT 人材不足に直面すると予測されています³。

人材

従業員のコミュニケーション方法、業務の進め方、顧客との関わり方の変化に伴い、プロセス、テクノロジー、不動産の観点から新たな計画の策定が必要とされています。



将来を見据えた ワークプレイス

工場、スタジアム、自宅、車内、病院、オフィスなど、働く場所がどこであっても、ワークプレイスは今日の進化し続けるニーズに対応できる俊敏性と、未知の未来に適応できる強靭性を備えている必要があります。

重要なのは、従業員のニーズに応じて進化し続け、優れた顧客体験を提供できる環境を構築することです。



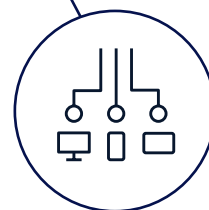
需要の増大に対応
できるネットワーク
を整備している



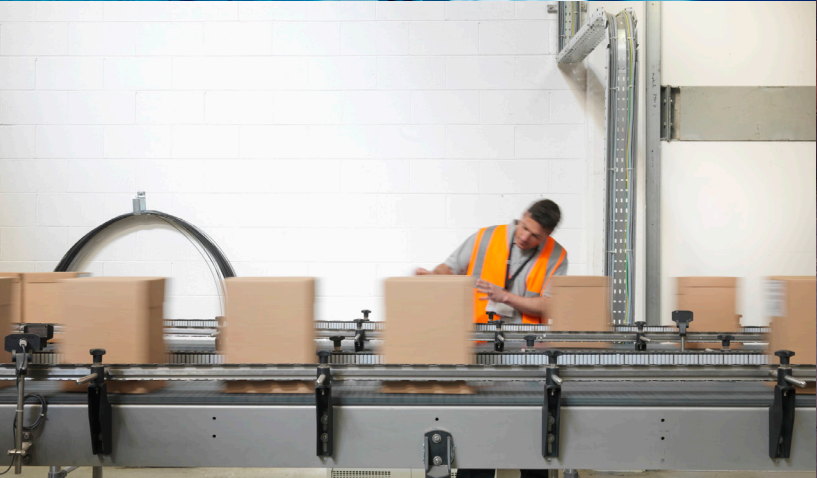
優れた体験を標準
化している



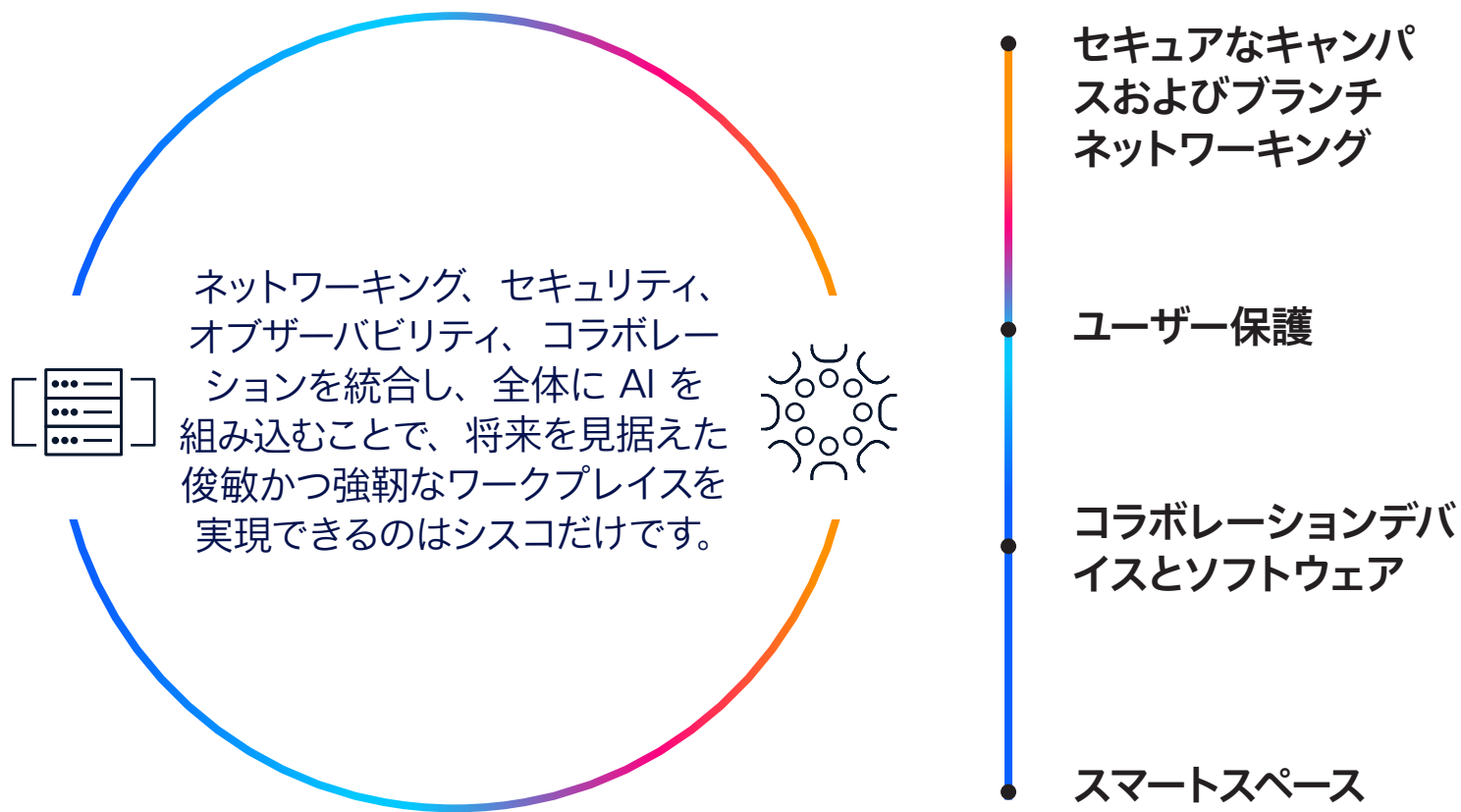
セキュリティを
最初から組み
込んでいる



あらゆる状況に対応で
きるツールを IT 部門が
備えている



統合アプローチによるシスコの支援





セキュアなキャンパスおよびブランチネットワークング

シスコは、ワイヤレス、スイッチング、ルーティング、ソフトウェア定義型広域ネットワーク (SD-WAN)、セキュア アクセス サービス エッジ (SASE) ソリューションにわたる包括的なポートフォリオを提供し、ワークプレイスを支えるセキュアな接続を実現します。セキュリティ、アシュアランス、インテリジェンスを基盤に構築されたデバイスにより、業務が行われるあらゆる場所で、信頼性の高いセキュアなネットワークの構築と、シンプルで拡張性の高い運用を支援します。シスコのセキュアなネットワークインフラは、AI を前提に構築されています。統合管理、ネットワークに組み込まれたセキュリティ、AI ワークロード向けに設計されたネットワークングデバイスにより、シンプルな運用を実現するとともに、現在だけでなく将来においてもネットワークの拡張を支援します。

ユーザー保護

あらゆる場所から接続するユーザーとデバイスを保護するために、シスコは多層的なセキュリティアプローチを提供し、エンドポイントからメール、アプリケーションまで、すべてを保護します。その基盤となるのが、摩擦を生まないゼロトラストアクセスです。アイデンティティファーストのアプローチを採用しており、セキュリティ態勢を継続的に評価しながら、アクセスポリシーを動的に適応させます。これにより、一貫性のあるシンプルなユーザー体験を提供します。狙いは、ユーザーではなく攻撃者を苛立たせることにあります。

コラボレーションデバイスとソフトウェア

シスコは、従業員同士の会議の円滑化から顧客やパートナーとの連携まで、あらゆる場面で優れた体験の創出を支援します。AI を活用した包括的なコラボレーション ポートフォリオには、シスコデバイスが含まれています。シスコデバイスは、ホームオフィスから大規模会議室までの多様なニーズに対応するとともに、よりスマートなスペースを実現するための有益なインサイトを提供するインテリジェントセンサーとしても機能します。Webex Suite を活用することで、従業員は業務に必要な包括的なツール一式にアクセスし、接続、コラボレーション、エンゲージメントを容易に行うことができます。Webex Contact Center と Webex Connect は、専用に設計された AI を活用して、パーソナライズされた能動的な顧客体験を提供します。

スマートスペース

Cisco Spaces は、コラボレーション エンドポイント、Wi-Fi、センサーなど、ネットワーク全体のデバイスからデータを統合し、リソース、スペース、エネルギーコスト、サステナビリティ、安全性を最適化します。シスコの Power over Ethernet (PoE) テクノロジーは、イーサネットケーブル 1 本でシステムに電力を供給することで、展開の簡素化とコスト削減にも貢献します。



誰にとっても機能的なワークプレイスの構築を支援

円滑な体験

従業員と顧客に一貫したスムーズな体験を提供し、満足度と定着率の向上に貢献します。

生産性と俊敏性

チームがよりスマートに働けるよう支援し、コラボレーションを容易にするとともに、IT 管理のシンプル化を実現します。

安全性とセキュリティ

あらゆるワークプレイスで包括的な安全性とセキュリティを確保し、デバイスとユーザーを保護するとともに、従業員のウェルビーイングにも貢献します。

効率性とコスト削減

空間とリソースを最適化し、より持続可能でエネルギー効率の高いワークプレイスを実現することで、不動産投資の最適化、運用コストの削減、環境負荷の低減を実現します。

BT Group

BT Group 社は、シスコのネットワークング、セキュリティ、スマートビルディングソリューションを導入しました。これにより、分散したワークフォースに途切れることのない接続を提供し、あらゆる場所からの効果的なコラボレーションと一貫したカスタマーサービスを実現しています⁴。

Nutrien™

Nutrien 社は、シスコのセキュアなネットワークと IoT ソリューションを導入し、リアルタイムのインサイトを取得することで業務効率を大幅に向上させるとともに、施設全体でデータに基づく迅速な意思決定を可能にしました⁵。



Mercy Ships 社は、シスコのネットワークングおよびコラボレーションテクノロジーを活用し、アフリカの医療サービスが行き届いていない地域に医療を提供するとともに、遠隔地の医療チームの接続性とセキュリティを確保し、ミッションの遂行を支えています⁶。

Tripadvisor

Tripadvisor 社は、シスコのソリューションを活用して、世界中のオフィスをコラボレーションに適した効率的かつサステナブルな環境へと変革しました。これにより、従業員体験を向上させるとともに、スペース利用率を 50% 削減し、不動産ポートフォリオの最適化を実現しています⁷。

シスコの優位性

プラットフォームの強み


シスコのプラットフォームアプローチでは、重要な柱（ネットワーキング、セキュリティ、オブザーバビリティ、コラボレーション）全体でデータを共有することで、段階的に複合的な価値を実現します。さらに、既存環境との統合に向けた拡張性を確保し、将来を見据えた設計によって変化への適応を支援します。

デジタルレジリエンスの基盤

シスコは、ワークプレイスにおける強固なデジタルレジリエンスの基盤構築を支援します。ネットワークの力にセキュリティ、オブザーバビリティ、アシュアランスを融合することで、サードパーティのシステムや運用システムを含むデジタルフットプリント全体にわたって、比類のない可視性とインサイトを提供します。シスコと連携することで、予期せぬ中断が発生した場合でも、プロアクティブに問題を特定してリスクを軽減し、運用を継続できます。

AgenticOps をはじめとする AI ファーストのイノベーション

AgenticOps は、AI エージェントを活用した最新の IT 運用モデルです。クロスメインのワークフローを実行し、問題解決を迅速化します。AgenticOps 向けに構築された AI Canvas は、ITOps、NetOps、SecOps、アプリケーションチームにインテリジェントな共通のワークスペースを提供する生成型 UI です。リアルタイムのテレメトリ、AI インサイト、チームコラボレーションを 1 つのビューに統合します。シスコはこのほか、組織全体における AI の開発と使用を保護する AI Defense や、Webex における業界初の AI 活用による卓越したコラボレーション体験の創出など、数々のイノベーションを実現しています。



シスコのソリューションで実現する将来を見据えたワークプレイスの真の価値は、プラットフォームアプローチによって複合的な価値を生み出せる点にあります。

セキュリティとアシュアランスが組み込まれた堅牢なネットワーキング

40年以上にわたってネットワーキングをリードしてきたシスコは、比類のない帯域幅を提供するとともに、キャンパスからブランチ、データセンターに至るまで、ネットワーク全体でセキュリティ、アシュアランス、インテリジェンスをシームレスに統合します。あらゆるレイヤにセキュリティが組み込まれており、デバイスからユーザー、さらには AI エージェントに至るまで、ワークプレイスは本質的にセキュアになります。たとえば、シスコのスマートスイッチはアクセスレイヤにセキュリティを直接組み込むことで、インライン セグメンテーションとポリシー施行を可能にします。

堅牢なセキュリティと業界をリードする SD-WAN に、アシュアランスとアイデンティティ インテリジェンスを統合した唯一の SASE ソリューション

シスコのシングルベンダー SASE は、アーキテクチャを簡素化してポリシーを統合し、ユーザー体験を最適化する真の統合プラットフォームを提供します。ユーザーとモノにスマート認証を拡張することで、将来を見据えたワークプレイスを実現するとともに、新たに登場する生成 AI アプリケーションに対するきめ細かな制御を可能にし、信頼性の高いデジタル体験を創出します。

シスコと連携し、将来を見据えたワークプレイスの構築を開始



1

ビジョンと目標とするビジネス成果を定義

まず、組織にとって成功とは何かを明確に定義することから始めます。生産性の向上、従業員体験と顧客体験の向上、セキュリティの強化、業務効率の改善など、具体的なビジネス成果を特定します。従業員のニーズの変化だけでなく、AIなどの新しいテクノロジーが目標達成にどのように貢献できるかを検討します。

2

統合テクノロジー戦略を策定

IT、総務、セキュリティといった部門ごとにサイロ化した計画から脱却し、統合されたテクノロジーロードマップを策定します。

- ・ 基盤となる推進要素として、セキュアなネットワーキングを優先します。現在だけでなく将来のニーズにも対応できるよう、AI イニシアチブを推進できるネットワークを整備します。保護を強化し、管理を簡素化するために、ネットワークにセキュリティを直接組み込む方法を検討します。
- ・ 従業員と顧客に優れた体験を提供するために、統合テクノロジーを活用し、スムーズでセキュアな体験を創出します。コラボレーションツールやスマートスペースに組み込まれている AI を活用したインテリジェント機能により、対話のパーソナライズやスペースの最適化を図ります。

3

成果を測定

ステップ 1 で定義した主要なビジネス成果に対して、ワークプレイスの変革がどのような影響を与えているかを追跡するための KPI を設定します。これらの指標は ROI の実証に役立つだけでなく、継続的な戦略改善にも貢献します。

関連情報

1. シスコ :『[新たな調和の実現 \(Enjoying new harmony\)](#)』
2. シスコ :『[Nutrien 社が将来を見据えたワークプレイスを深化 \(Nutrien goes deep to future-proof its workplaces\)](#)』
3. シスコ :『[テクノロジー、ミッション、パートナーシップが融合した病院船 \(Floating hospitals that merge technology, purpose, and partnerships\)](#)』
4. シスコ :『[Tripadvisor 社の将来を見据えたワークプレイス戦略 \(Tripadvisor's Strategy for Future-proofed Workplaces\)](#)』
5. シスコ :『[AI 時代に向けたネットワークのモダナイゼーション](#)』
6. シスコ :『[AI 要件に対応するための、ネットワークのモダナイゼーションと保護](#)』
7. シスコ :『[AI 対応のブループリント：エージェント時代に向けたネットワークの将来対応 \(The AI-ready Blueprint: Future-proofing Networks for the Agentic Era\)](#)』

参考資料

1. [シスコ IT ネットワーキングリーダー調査、2025 年](#)
2. [シスコサイバーセキュリティ成熟度指標、2025 年](#)
3. [IDC 社レポート :『Enterprise Resilience: IT Skilling Strategies』、2024 年](#)

将来を見据えたワーク プレイスの実現に向け て、次の一歩を踏み出す 準備はできていますか？

組織は、今日のビジネスニーズに対応するためにワークプレイスを進化させると同時に、将来にも適応できる環境を構築するというプレッシャーに直面しています。

現在のニーズに対応しながら、将来に備える方法を[ご確認ください](#)。

